

ともえ

2013
1
No.357



CONTENTS

新春特集 より魅力ある函館へ!未来に向けたまちづくり

- ◆企業探訪…………… P18
- ◆はこだて冬のイベント情報…………… P21
- ◆新春紙上名刺交換…………… P22



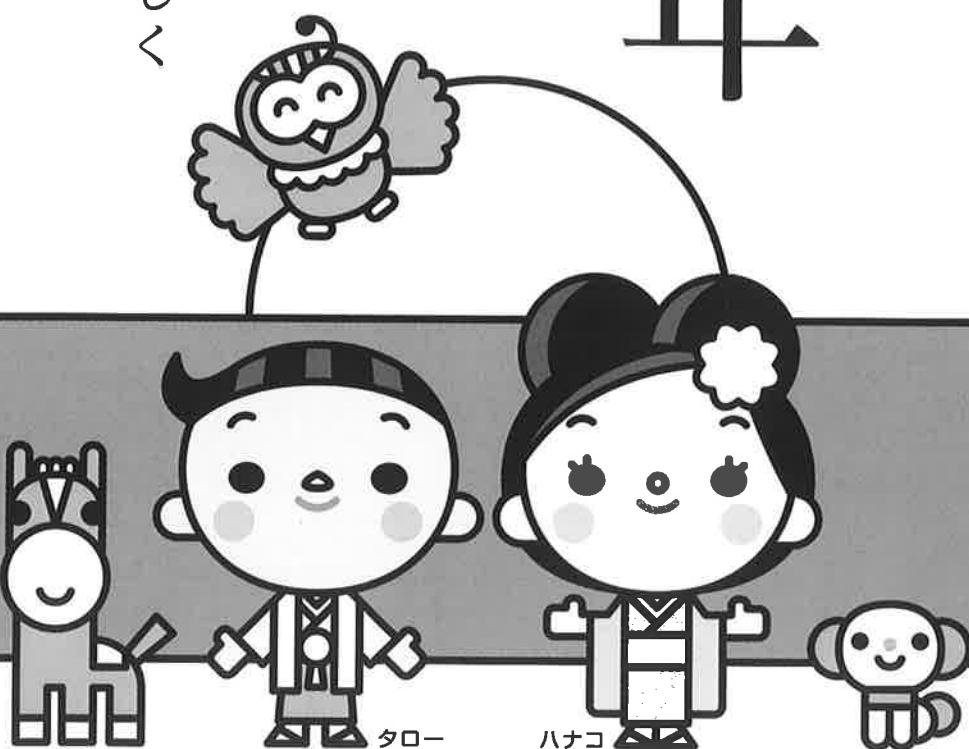
旅が、仕事が、暮らしが、街が変わる。

2015年 新函館開業

謹賀新年

私たち
は
北海道の暮らしを
応援します。
本年もどうぞよろしく
お願ひいたします。

平成25年元旦



- 函館支店／函館市本町7番18号 TEL(0138)51-2211
- 函館駅前支店／函館市若松町20番1号 TEL(0138)22-8161
- 十字街支店／函館市末広町10番2号 TEL(0138)22-7141
- 亀田支店／函館市亀田本町37番3号 TEL(0138)42-6111

- 美原支店／函館市美原1丁目18番7号 TEL(0138)42-1711
- 東山支店／函館市東山2丁目4番38号 TEL(0138)55-2571
- 湯川支店／函館市湯川町2丁目27番30号 TEL(0138)59-3123



ホームページ <http://www.hokkaidobank.co.jp/>

函館商工会議所報

ともえ

1月号

(通巻357号)

謹賀新年

旧年中は格別のお引立てを賜り
厚く御礼申しあげます。

本年も皆様にとつて、良い年で
ありますよう心からお祈り申しあげます。



■今月の表紙

雪化粧の函館ハリストス正教会



(写真提供：小松英海氏)

CONTENTS

- 2 年頭所感** 函館商工会議所 会頭 松本 榮一
- 4 新春特集** より魅力ある函館へ！未来に向けたまちづくり
- 8 会議所の動き**
- 第4回臨時議員総会
 - 陳情・要望活動
 - 新入会員交流会
 - 第5回函館市経済再生会議
 - The津軽三味線2012鑑賞ツアー
 - 中心市街地活性化協議会総会
 - 道南台湾観光友好協会設立記念セミナー
 - 女性会
 - 青年部
 - 今後のうござき
- 12 第54回優良商工従業員表彰式**
- 14 中小企業相談所だより**
- 小規模企業共済制度
 - セミナー
 - マル経融資
 - 個別専門相談日程
- 16 新幹線情報**
- 17 新入会員ご紹介**
- 18 企業探訪**
- 関プラスモバイル
- 20 ご案内**
- Mint CARD
 - 各種検定試験日程
- 21 はこだて冬フェスティバル**
- 22 新春紙上名刺交換**
- 28 全面広告**
- 30 連載コラム 快進撃企業に学べ**
- 他社ブランド薬品を最も多くつくる『万協製薬』

広告掲載企業

(株)北海道銀行函館支店	表紙裏
名鉄観光サービス(株)函館支店	裏表紙裏
中小企業基盤整備機構北海道本部	裏表紙
函館青色申告会	P 28
北海道中小企業団体中央会道南支部	P 29
(業)英知国際特許事務所	段下
中小企業基盤整備機構北海道本部	段下
イシオ食品(株)	段下
(株)日経コンサルタント	段下
龍文堂印刷(株)	段下
モチベーション・アップ(株)	折込
北海道電力(株)函館支店	折込
(株)JTB北海道函館支店	折込
はこだて雇用創造推進協議会	折込
富士火災海上保険(株)函館支店	折込
会議所ニュース	折込

2013年頭所感



函館商工会議所 会頭

松本 福一

新年あけましておめでとうございます。

平成25年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申しあげます。

さて、年末の国政選挙の争点にもなった我が国のエネルギー問題については、国民生活や経済活動への懸念から、国を挙げて節電の機運が高まり、また原発のあり方等について多くの議論がなされておりますが、特に当地域にとっては大間原発の建設再開もあって大変深刻な問題となっています。

昨夏本所が行った「エネルギー動向に関するアンケート調査」結果からは、回答企業の7割が「原子力発電については安全対策を実施した上で当面再稼働し、段階的に減らすべき」としていますが、大間原発に関しては既存施設とは異なり、国のエネルギー政策、環境政策にも矛盾し、技術的にも、安全保障上も大きな疑問があることから、地域が一体となって建設の無期限凍結を求めているところです。

またアンケート調査からは、同時に多くの企業が将来的に太陽光や風力などの再生可能エネルギーに期待しているとの回答を得ましたが、当地域は三方が海に囲まれている地域

環境から、海洋発電の可能性について調査研究を進めるべきではないかとも考えております。地域が推進する「函館国際水産・海洋都市推進構想」にも適うところであり、再生可能エネルギーを活かした新しい産業基盤が創出できれば、人口の減少等により地盤沈下が著しい当地域活性化の起爆剤となりうるのではないかとも期待するところです。

また国においては、阪神淡路大震災、東日本大震災時の対応に鑑みて、災害時多目的船整備の必要性が論ぜられておりますが、整備時の拠点として、太平洋側と日本海側のいずれにも対応が可能という地理的優位性を持つ函館港を母港としての活用を要望しており、実現が期待されるところです。

当地域では、北海道新幹線新函館開業がいよいよ2年後に迫り、また昨年は札幌延伸も決定したところですが、一方で北海道縦貫自動車道は昨年大沼公園まで開通したものの、七飯までの残り10キロについては財源の問題もあり未着工となっております。函館が孤立することなく地域の生活を守り、新幹線効果を最大限に發揮して地域経済を活性化するた

めにも、この「七飯一大沼公園」間が早期に完成するよう、地域として国・道に積極的な要請を続けていかなければならないと考えます。

また、昨年あらためて表面化したHAC（株）北海道エアシステム）の経営改善計画推進に伴い、収益確保の観点から函館ー丘珠線の増便が図られるとともに、新規路線として丘珠ー三沢間の開設が検討されておりますが、本所では特に機材繰り、搭乗率を勘案して丘珠ー三沢間の新規路線開設時に、函館空港を経由させることが有効ではないかとの提案を、北海道およびHACに行っているところです。このことはまた、函館地域と八戸市など三沢市近隣との地域間交流を促進する効果があると考えます。

本所では、来るべき新幹線時代を見据えて、青森・弘前等北東北地域を足がかりに産業の広域展開を図る「南進政策」を提唱し、また青函事業連携を推進していますが、特に弘前商工会議所とは「津軽海峡観光クラスター会議」を設置し、両地域を相互に訪問するツアーや商品の造成や地元観光イベント・産業まつり等における観光・物産プロモーションを実施しており、また、青森商工会議所とはよりビジネスに特化した新たな共同事業を協議するなど、さらに連携を深めてまいりたいと存じております。

さて、裾野が広く波及効果も大きい観光関連産業は、当地域にとって主要基幹産業であります、特に中国・韓国・台湾など東アジ

ア地域からの観光客誘致を、安定的にさらに発展させるため、地道な努力を続けることが重要です。

幸い台湾に関しては、これまでのプロモーション活動が実を結び、昨年9月に復興航空、10月にエバー航空が相次いで函館ー台北間の定期便を就航させました。

この台湾との関係では、台湾政府観光局との繋がりから、昨年2月に台湾最大の祭典「台湾ランタンフェスティバル」の点灯式に招待され、またフェスティバル会場にブースの提供を受けて地域のPRを実施するなど交流が深まっており、道南二市一町の商工会と連携して昨年10月「道南台湾観光友好協会」を設立いたしました。また12月には台北駐日経済文化代表処の沈斯淳（しんしじゅん）代表を招いて設立記念セミナーと交流会を開催したところですが、これを契機に道南地域全体が活性化することを願うものです。

地域の経済環境は、今後も厳しい情勢が続くものとは存じますが、商工会議所がリーダーシップを發揮して地域経済活性化のため全力を傾注するとともに、会員の皆様にとって、より役立つ商工会議所を目指し、さらに一層有意義な事業展開ができるよう努力してまいりたいと存じますので、今後とも皆様のご支援とご協力をお願い申しあげます。

結びに、本年が皆様とご家族にとって実り多く、健康で幸せな一年となりますよう心から祈念いたしまして、ご挨拶といたします。

より魅力ある函館へ! 未来に向けたまちづくり



新年あけましておめでとうございます。

本号の新春特集では、将来の函館がより魅力ある街へと変わらるよう日々進められている各種まちづくり政策についての取り組みと今後の計画を掲載するとともに、まちづくりの推進と地域の活性化を事業計画の重点項目に挙げている本所が、それらの取り組みに対してどのような役割を果たしているのかをご紹介いたします。

中心市街地活性化

函館市では、平成24年11月に函館市中心市街地活性化基本計画(案)を策定し、平成25年1月には内閣府へ認定申請を行い、同3月には内閣府の認定を受ける予定となっています。同基本計画(案)では、函館市の中心市街地を函館駅前・大門地区から電車通り沿いに本町・五稜郭・梁川地区までの約200ヘクタールを計画区域として定めており、計画期間は平成25年4月～30年3月までの5年間となっています。

このような中、本所においては、平成18年に制定された新中心市街地活性化法に基づき、同基本計画への意見提出や中心市街地活性化に関する事業の総合調整を行う組織として、㈱はこだてティーエムオー、新都心五稜郭協議会をはじめ、金融機関、大学などの地域関係団体とともに、平成23年11月に「函館市中心市街地活性化協議会」を設立しました。以来、同協議会では、中心市街地の活性化を推進することはもとより、函館市全体の発展を牽引していくという共通認識のもと、数回にわたり会合を開き、その中で、同基本計画(案)に対し、様々な意見を具申してきたところであり、去る1月9日には、正式に同協議会永井会長（本所副会頭）から

工藤市長へ意見書を提出しました。

今後も同協議会では、中心市街地活性化の目標実現に向け努力していくことはもとより、より一層、活力にあふれた魅力あるまちづくりを推進していくために、認定基本計画（基本計画が内閣府より認定された後）の事業の実施・変更に関し必要な事項について、さらには、平成27年度の北海道新幹線新函館駅開業に併せ、新たに必要とされる事業等について、隨時協議を行っていきます。

【基本コンセプト】

市民生活と歴史・文化、観光が融合した回遊性の高いまちづくり

【基本コンセプトの考え方】

①観光拠点や交通拠点と中心市街地の連動

観光拠点である元町・末広地区、本町・五稜郭・梁川地区、函館駅前・大門地区へは、北海道新幹線新駅や函館空港などの広域交通拠点、さらには道内各地から各種の交通機関を利用した観光客が訪れる。こうした観光客を中心市街地に呼び込むため、既存の観光資源である五稜郭公園、五稜郭タワー、路面電車、函館朝市、自由市場、大門横丁などの施設を核に、これまで以上に地区内を回遊させるため、新たな施設整備やサービス、さらには公共交通機関の充実を図る。

②市民生活に密着した中心市街地への再生

中心市街地には、医療施設、文化芸術施設、スポーツ施設など市民の日常生活に欠かせない施設があり、1年を通じて多くのイベントが開催されているが、街なか居住や来街者を増加させるために必要な施設はまだまだ不足している。これら不足している機能を充実し、函館駅前・大門地区では、子どもや高齢者が楽しめ、家族で長時間滞在できる環境づくりを進めるとともに、本町・五稜郭・梁川地区では、若手起業家の活動支援や若者のための居場所を整備するなど、若い人たちが長時間滞在できる環境づくりを進める。さらには街なか居住の重点的な推進を図り、賑わいの創出に努める。

【基本コンセプトのイメージ図】



函館国際水産・海洋都市構想

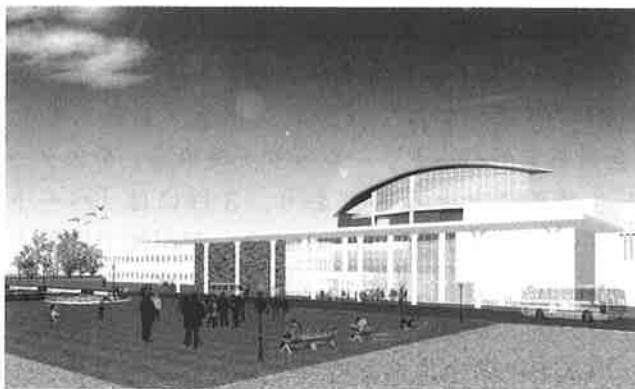
函館は、3つの異なる海流が流れ込む海洋資源が豊富で恵まれた地理的・自然的条件にあり、北海道大学水産学部をはじめとする水産・海洋に関する多くの学術研究機関や関連産業が集積しています。

函館国際水産・海洋都市構想は、このような水

産・海洋に関する様々な資源など地域のポテンシャルを最大限に活用することにより、水産・海洋分野での国際的な学術研究拠点都市を形成し、革新技術や新産業の創出によって地域経済の活性化を図ることを目的に、平成15年に策定されました。

本所においても、翌年の平成16年には水産海洋都市推進委員会を新たに設立し、各種調査研究やセミナーなどの定期的な開催をはじめ、当市の基幹産業である水産業者等で構成する農水産部会や産学官連携促進委員会との合同説明会では活発な意見交換や提言を行うなど、経済界として同構想に対する理解を深め、地域活性化の促進につながるよう推進を図ってきました。

このような中、同構想の中核施設である「国際水産・海洋総合研究センター」が基本設計や用地取得、岸壁整備などを完了し、平成26年度の供用開始を目指し、いよいよ目に見える形で工事が着工しています。同センターは、様々な学術研究機関や企業が、集積・連携して取り組む研究環境を提供するとともに、市民や観光客などが海と科学にふれあうことのできる展示機能や体験学習機能を併せ持つ、広く開かれた新しい形の研究施設であり、同構想のテーマである国際的な水産・海洋に関する学術研究拠点都市のシンボル的な施設となります。



▲▼研究センター完成予想図



青函圏域の連携促進

縄文時代から津軽海峡を挟んで地域間交流が長く続けられてきた青函地域の歴史を背景に、青森市と函館市は、昭和63年3月13日の青函トンネル開通を契機として、経済、観光、文化、スポーツ等の広い分野で積極的な交流を図り、新たな経済文化圏の形成とより一層の友好親善、将来の地域発展を目指すことを目的に、青函トンネル開業1周年の平成元年3月13日「ツインシティ（双子都市）」提携の盟約を締結しました。これを踏まえ同年、青森・函館両商工会議所も盟約を締結し、10月に第1回の青函圏委員会合同委員会を開催して以降、合同委員会開催や議員会事業を通じ、今般まで24年にわたる親善交流を続けてきました。

そして、平成17年の北海道新幹線新青森・新函館間着工を契機に、函館では青函地域の広域観光推進気運が一層高まり、官民連携による新幹線開業アクションプランの策定を経て、平成22年12月の東北新幹線新青森全線開業を北海道新幹線の先行開業に見立て、連携促進の取り組みがスタートしました。同年11月に就任した松本会頭が施策の柱の一つに掲げた南進政策も契機となり、平成23年4月には、弘前・函館両商工会議所が「津軽海峡観光クラスター会議」を設立、以降現在までに、両地域相互の観光ツアー造成や産業まつり等での地元産品の相互PR、共同観光プロモーションなど、具体的な連携策を推進しています。

平成25年は、新たに青森・函館両商工会議所会員相互のビジネスマッチング促進を目的とした「会員事業所パートナーシップ支援事業」をスタートさせることとなっており、3月には「パートナーシップ構築懇談会・交流会」が函館で開催される予定となっています。他にも青森・弘前・函館の三商工会議所青年部の連携促進や、青函両地域の事業者同士の事業提携・製品共同開発などが見込まれており、平成27年度の北海道新幹線開業へ向けた動きが加速する一年となりそうです。



▲『弘前・津軽の食と産業まつり』での函館の物産・観光をPR

北海道新幹線開業対策組織の運営

北海道新幹線は平成27年度(2015)の新函館開業へ向けて、順調に工事が進捗しています。本所では、新函館開業に向けた官民連携組織の事務局を平成18年から所管しており、平成20年11月に策定した「北海道新幹線開業はこだて活性化アクションプラン」の推進を図るため、翌年5月、本所・函館市・(社)函館国際観光コンベンション協会を幹事団体として函館市内に所在する業界団体を交えた「北海道新幹線新函館開業対策推進機構」(以下、機構)を運営しています。

青森や鹿児島など全国の新幹線開業事例を手本に進めてきた機構の3年半に亘る取り組みを通じ、開業効果を最大限に發揮させるためには、経済活動の担い手である事業者自らが当事者意識を持って経済効果の創出に取り組んでいくよう、担い手の「実行力」を養成していくことが最重要であると位置付け、今年度は重点事業として、魅力あるまちづくりの担い手を養成する「新幹線開業はこだて魅力創造ゼミナール『はこゼミ』」を1年間にわたりシリーズ開催しています。

機構では予算や人員の制約の下、アクションプラン記載項目の全てを直轄することができないため、幹事団体や民間事業者がそれぞれ担うべき施策の役割分担と地域内の温度差の解消を図りながら、事業者・市民それぞれの立場の方々が「やる気」を持てるような施策を、平成25年度以降、「市民やる気アップ」「商売やる気アップ」「函館行く気アップ」「現駅利活用・街なか快適アップ」をテーマとした4つのプロジェクトとして推進していくこととしています。

新幹線開業は地元函館にとって「ゴール」ではなく「スタート」であり、機構の取り組みによって多くの市民や事業者を巻き込みながら地域課題の解決策を考えていくことが、将来において必ず地域の役に立つものと信じ、引き続きアクションプランの具現化に尽力して参ります。



▲はこゼミワークショップの様子

東アジア地域など海外観光客の誘致

当地域の主要基幹産業である観光関連産業にとって、中国・韓国・台湾など東アジア地域からの観光客誘致は最重要施策の一つであり、本所ではこれまで地域を挙げて誘致活動に取り組んできました。

しかしながら、昨年後半からの領土問題が影響して、中国・韓国からの観光客が低調となったのに加え、平成18年に定期便が就航した大韓航空が、今冬の運航を休止するなど今後の動向が心配されるところですが、幸い台湾に関しては、これまでのプロモーション活動が実を結び、昨年9月に復興航空、10月にはエバー航空が相次いで函館－台北間の定期便を就航させました。

この台湾との関係では、台湾政府観光局との繋がりから、昨年2月に台湾最大の祭典である「台湾ランタンフェスティバル」の点灯式に招待され、またフェスティバル会場ではブースの提供を受けて当地域のPRを実施するなど交流が深まっています。さらに昨年10月には本所が中心となって函館市亀田商工会、函館東商工会、北斗市商工会、七飯町商工会の道南二市一町の商工会と連携して「道南台湾観光友好協会」を設立し、趣旨に賛同する多くの企業・個人に入会いただきました。また12月には台北駐日経済文化代表処の沈(しん)代表を招き、設立記念セミナーを開催いたしましたが、これを契機にさらに交流が深まり、台湾観光客の増加と地域活性化につながっていくことが期待され、本所としても、台湾をはじめ東アジア地域からの観光客誘致活動を、今後も関係機関との連携のもと積極的に行っていきます。



▲定期便就航を記念してのテープカット



▲設立記念セミナーにおいて日台交流を語る沈代表

地域のインフラ整備

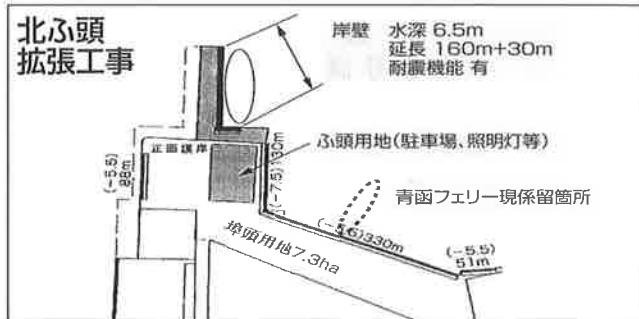
平成25年度は、地域の発展に欠かすことのできない各種インフラ整備事業が本格的に着工される年となります。代表的な事業では、函館のみならず道南地域のスポーツ活動や大規模コンベンションに対応した施設となる「函館アリーナ」、重点港湾の指定を受け船舶大型化による旅客数増大や輸送安定化と効率化の向上が期待される「北ふ頭拡張工事」、函館国際水産・海洋都市推進構想の中核施設である「国際水産・海洋総合研究センター」など、地域経済活性化を図るうえで非常に重要な施設が目に見える形で工事を開始します。

本所では、これら事業が計画案として進んでいる段階において、整備促進や機能充実に向けて国や北海道、函館市などへ積極的に提言を行ってきました。特に函館アリーナについては、合同部会や青年部の例会などにおいて函館市から担当者を招き、計画案についての説明や意見交換を行い、充実したコンベンション機能を有する施設として、経済界をはじめ市民からの意見が広く集約されるよう強く要望を行いました。

また、これらの他にも、他都市との連絡機能強化や物流の効率化などを図る高規格幹線道路や、航空路線網の充実および輸送枠の拡大や新たな航空路線の開設、太平洋と日本海のいずれにも面している立地条件を活かした災害時多目的船の整備など、今後も本所事業の重点項目である地域経済発展のための提言・意見活動の推進を行っていきます。



▲函館アリーナ完成予想図



▲現在は船尾をつけて係留していますが、今後は横付けで係留できるL字型岸壁を新たに整備

会議所のうごき

kaigisyono ugoki

第4回臨時議員総会

議員表彰を行い、5つの報告事項を承認

第4回臨時議員総会を去る12月5日、ホテル函館ロイヤルにおいて開催しました。

当日は、松本会頭の挨拶の後に本所役員・議員表彰規程による表彰が行われ、永年に亘り本所議員としてご活躍されている該当者12名（下表）が発表され、当日出席された6名が松本会頭より感謝状と記念品を授与されました。

また議題では、去る11月29日に行われた常議員会を経て提出された報告事項として、議員・顧問の異動、議員の補充選任、陳情・要望活動、部会・委員会の活動報告、新会員34事業所の加入についてそれぞれ報告され、異議無く了承されました。

総会後は、議員会主催による歳末懇親会が開催

され、工藤市長や青森商工会議所議員会をはじめ市内各界の方々を来賓として招き、毎年恒例の抽選会も行われるなど終始和やかな雰囲気のなか盛会裡のうちに終了しました。



▲開催に先立ち挨拶を行う松本会頭

役員・議員表彰規程による表彰

平成24年10月1日付

在任27年	常議員	田島久吉	氏
	タ	島喜昭	氏
名取			
在任21年	常議員	井村守俊	氏
在任15年	副会頭	石尾清広	氏
	常議員	辻秀明	氏
	2号議員	方次郎	氏
	タ	征史	氏
	タ	相博	氏
1号議員	阿山志	修志	氏
タ	鈴木	彦平	氏
	タ	間正彦	氏

退任議員（日付順）

前常議員（故）寺坂伊佐夫 氏
前名誉会頭（故）高野洋藏 氏

議員の異動

■職務を行う者の変更

平成24年8月1日付

◎1号議員

（株）函館国際ホテル

（新）小岩宏年 氏

（旧）中村由紀夫 氏

平成24年11月1日付

◎1号議員

（株）SHR函館

（新）岡村匡 氏

（旧）道上浩之 氏

平成24年11月22日付

◎1号議員

前側石油（株）

（新）渡邊宏海 氏

（旧）田中康彦 氏

■陳情・要望活動

日本航空・全日空に対し各要望を行う

国内航空路線網の充実に関する中央要望を去る11月16日、工藤市長や松本会頭をはじめ9名が参加のもと日本航空(株)と全日本空輸(株)に対して行いました。

当市は、観光が基幹産業の一つとなっており、航空路線網の充実は地域経済の活性化のために不可欠なものとなっています。この度の要望では、平成17年より国内線長距離便の運用制限のため運航休止となっていた函館～大阪線が、同制限を見直すことになったため「函館～大阪（伊丹）線の運航再開」と、羽田空港国内線が来年より2万回分の発着枠が拡大されることから「函館～羽田線の運航機材の大型化および運航便数の増便」について、それぞれ要望を行いました。



▲航空路線網の充実にむけて要望を行う松本会頭

■新入会員交流会

新入会員事業所から18名が参加し交流を図る

初めての企画となる新入会員交流会を去る11月29日、ロワジールホテル函館において開催しました。

当日は、昨年度と今年度入会した会員のうち16事業所から18名が参加し、本所の事業説明を受けた後、日本政策金融公庫函館支店の小倉支店長より「誰にも聞けない資金繰り」と題したセミナーを受けました。小倉支店長は、将来の現金の収入と支出を予測して収支のバランスを図る資金繰りについてわかりやすく解説し、取引条件の重要性や資金繰りを判断する指標について説明しました。またセミナー終了後は、小倉支店長も参加しての

名刺交換会を兼ねた交流懇親会が行われ、参加者は自社のパンフレットを配布するなど交流を深めました。

なお、参加者にご協力いただいたアンケート調査では、本所に対し、見える事業、参加できる事業を増やしてほしいといった意見や、異業種交流会を増やして欲しいといった意見が寄せられました。



▲資金繰りについて説明する小倉支店長

■第5回函館市経済再生会議

専門家の意見から地域経済の再生を協議

経済に精通した有識者で構成する第5回函館市経済再生会議が去る12月1日、工藤市長や松本会頭をはじめ17名が出席のもと、函館国際ホテルにおいて開催されました。

当日は、慶應義塾大学経済学部の植田浩史氏から「函館市の中小企業振興」について、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)の内田俊宏氏からは「函館観光の現状と今後の方向性」についてそれぞれ解説いただき、地域の企業数減少を防ぐ取り組みや、観光客誘致の方向性など具体的な意見を提案されました。また、その後はこれらの提案をもとに出席者の活発な意見交換を行いました。



▲地域経済の活性化に向けて協議を行う松本会頭

■The津軽三味線2012鑑賞ツアー

観光ルートや津軽三味線を視察

本所と弘前商工会議所の連携事業の一環として、弘前市・五所川原市を巡る合同部会「The津軽三味線2012鑑賞ツアー」を去る12月8日、松本会頭はじめ13名が参加のもと開催しました。

ツアーでは、津軽鉄道ストーブ列車の乗車体験や五所川原市の立佞武多の館、弘前市の長勝寺見学など、津軽の観光ルートの視察を行いました。また、ツアーの目的である弘前市民会館で行われた「The津軽三味線2012」では、主催する弘前商工会議所の永澤会頭から熱烈な歓迎を受け、津軽民謡や歴史のある三味線の音、300人の伴奏者が合奏する迫力のあるステージなど、参加者は熱心に聞き入り津軽の伝統文化を堪能しました。



▲津軽鉄道ストーブ列車を見学する参加者

■中心市街地活性化協議会総会

基本計画に対する意見書を審議し承認

函館市中心市街地活性化協議会平成24年度第2回総会を去る12月20日、21名の委員及び4名のオブザーバーが出席のもと、ロワジールホテル函館において開催しました。

当日は、初めに、函館市経済部より、昨年8月31日開催の第1回総会にて公表された函館市中心市街地活性化基本計画の原案から、訂正・追加等があった箇所を中心に同基本計画(案)について説明がなされ、続いて、同基本計画(案)に対する函館市中心市街地活性化協議会からの意見書(案)について審議が行われ、原案どおり承認されました。なお、同意見書については、去る1月9日に正式に同協議会永井会長から工藤市長へ提出されまし

た。また、函館市では、意見書を基本計画(案)に登載後、今月には内閣府へ認定申請、本年3月には認定を受ける予定となっております。

平成24年度 第2回総会



▲開催に先立ち挨拶を行う永井副会頭

■道南台灣観光友好協会設立記念セミナー

台北駐日経済文化代表処の沈代表が講演

道南台灣観光友好協会設立記念セミナーを去る12月20日、松本会頭や石尾副会頭（当協会会長）をはじめ180名が出席のもとホテル函館ロイヤルにおいて開催しました。

セミナーでは、台北駐日経済文化代表処の沈斯淳代表を講師に招き、「日台関係のこれから」と題してご講演をいただきました。沈代表は「日本と台湾が航空自由化の協定を結んだことにより、各都市間で新たな航空路線が開かれており、日本との交流がますます盛んになるよう力を入れたい」と語り、台湾との定期便が就航している当市にとっても、さらなる観光客の往来など今後の経済交流に期待が高まる講演となりました。また、講演後は交流会を行い、沈代表をはじめとした訪問団と和やかに懇談し盛会裡に終了しました。



▲日台交流について語る沈代表

■女性会

綱会員を講師としてクリスマスリースを作成

11月例会を去る12月4日、内山会長をはじめ14名が参加のもと、ホテル函館ロイヤルにおいて開催しました。

当日は、フラワー装飾一級技能士やフラワー装飾職業指導員等の資格を持つ当会の綱会員(株)つな生花店)を講師として、クリスマスリースの作成講座を行い、リースに紐を括り付けたり、リボンを結んだりと慣れない作業の多いなか、参加者全員がクリスマスリースを完成させました。

また講座終了後には、フラワーアレンジメントの勉強のため訪問したオランダでの体験談をお話いただき、参加者は熱心に耳を傾けていました。



▲作成したクリスマスリースを持っての集合写真

■青年部

オリンピックやり投げ日本代表の村上選手が講演

フルマラソン検討委員会の主管による12月例会を去る12月12日、ホテル函館ロイヤルにおいて開催しました。

当日は、ロンドンオリンピックの男子やり投げ日本代表で、日本選手団主将を務めたスズキ浜松アスリートクラブの村上幸史選手を講師に招き「アスリートが見たオリンピック」と題し、各大会会場の様子やイベント開催状況、トレーニング方法について、講演をいただきました。また、函館で

のフルマラソン大会開催を目指す当委員会の活動について村上選手からは、「フルマラソン大会の実施だけではなく、陸上競技選手の合宿誘致も行いながらもっと函館の良さをアピールし、第1回目のフルマラソン大会には多くの実業団選手が参加してくれるような大会にしてほしい」との提案があり、村上選手も他選手へのPRを約束して下さるなど、参加した当青年部会員のほかスポーツ関係団体、中高生陸上部等の計60名は、熱心に聞き入っていました。



▲ロンドンオリンピックやフルマラソンについて語る村上選手

■今後のうごき

【12月21日現在】

1月	
11 (金)	北海道・青森「食と観光」新発見フェア(札幌市)
16 (水)	セミナー「経営者のリスク回避と弁護士の使い方」 金融個別相談
17 (木)	女性会1月例会
23 (水)	銭亀沢支所新年交礼会 発明相談
24 (木)	第10回はこゼミ
25 (金)	法律相談
30 (水)	青年部臨時総会・新年交礼会

2月	
10 (日)	第197回珠算能力検定試験
20 (水)	第40回1級・第71回3級販売士検定試験
21 (木)	第11回はこゼミ
22 (金)	中心市街地活性化フォーラム
23 (土)	観光ホスピタリティ講演会
24 (日)	第133回簿記検定試験

第54回 優良商工従業員表彰式

第54回優良商工従業員表彰式を去る11月27日、112名の受彰者をはじめご来賓や事業主など多数の出席をいただき、ホテル函館ロイヤルにおいて開催しました。

当表彰式は、永年同一事業所に勤務され成績優秀として事業主から推薦のあった従業員の皆様を表彰し、日頃の労をねぎらうとともに、より一層の活躍を目指していただくため毎年開催しており、今年度は148名の推薦をいただきました。

式典では、40・30年の受彰者と20・10年の代表者が壇上で賞状と記念品を受け取り、受彰者148名を代表して函館信用金庫の大久保忠さんから謝辞が述べられました。その後は、記念撮影、祝賀会などが行われ盛会裡に終了しました。

なお、永年に亘り地域経済を支え、企業発展のために努力を重ねてこられた皆様に心より敬意を表し全受彰者を紹介させていただきます。



勤続40年以上 (13名)

(敬称略)

氏名	事業所名	氏名	事業所名
酒井 誠	株式会社 ホテル函館ロイヤル	岩谷 俊明	丸果函館合同青果 株式会社
大久保 忠	函館信用金庫	佐々木政則	株式会社 五島軒
十倉 彰	函館信用金庫	野口 豊	株式会社 五島軒
田中健一郎	函館三菱ふそう自動車販売 株式会社	石岡 龍則	北海道ニチモウ 株式会社
由利 浩二	函館三菱ふそう自動車販売 株式会社	奥山 秀也	北海道ニチモウ 株式会社
布施 弘隆	樺電工業 株式会社	種田 利昭	北海道ニチモウ 株式会社
野中 勇	丸果函館合同青果 株式会社		

勤続30年以上 (22名)

氏名	事業所名	氏名	事業所名
新保 和彦	藤商事 株式会社	鹿内 順一	丸果函館合同青果 株式会社
中山 努	株式会社 ホテル函館ロイヤル	川崎 潤子	五稜郭タワー 株式会社
辻 由美	西野会計 株式会社	家口 利明	五稜郭タワー 株式会社
村本 伸也	西野会計 株式会社	立花 宏	北海道乳業 株式会社
石橋 弘海	西野会計 株式会社	日影館勝美	北海道乳業 株式会社
斎藤新二郎	株式会社 松本組	石見 修	北海道乳業 株式会社
森川 誠	樺電工業 株式会社	佐藤 隆一	株式会社 魚長食品
佐藤 浩人	株式会社 エスイーシー	斎藤 弥	株式会社 魚長食品
棟方 孝	株式会社 エスイーシー	熊谷 文士	株式会社 魚長食品
松田 健一	株式会社 エスイーシー	佐々木敏則	株式会社 マルカツ興産
伊藤 忠久	加藤組土建 株式会社	南 喜悦	株式会社 かくまん

勤続20年以上 (59名)

氏名	事業所名	氏名	事業所名
柏山 直子	函館船具 合資会社	土井 正道	道南食品 株式会社
小野寺 満	株式会社 中山薬品商会	福士 陽一	道南食品 株式会社
鈴木 秀昌	株式会社 澄建築設計事務所	泉 净	株式会社 松本組
三上 修吾	西野会計 株式会社	荒川 秀樹	株式会社 松本組
佐々木 要	斎藤容器 株式会社	近澤 潤	株式会社 松本組
石田 伸明	函館空港ビルディング 株式会社	干場 智貴	函館信用金庫
境 炎司	函館空港ビルディング 株式会社	山田 健二	函館信用金庫
坂上 剛志	道南食品 株式会社	戸山 典子	函館信用金庫
柴田 穂	道南食品 株式会社	山田さゆり	函館信用金庫
高橋三枝子	道南食品 株式会社	佐々木由佳	函館信用金庫

氏名	事業所名	氏名	事業所名
三浦 貴彦	株式会社 エスイーシー	成田 茂幸	五稜郭タワー 株式会社
水野 了	株式会社 エスイーシー	永井千恵子	五稜郭タワー 株式会社
児玉 浩司	株式会社 エスイーシー	伊藤 利雄	有限会社 鮎金
高橋 進	株式会社 エスイーシー	木戸 清子	黒島綜合事務所
小林 昌司	株式会社 エスイーシー	岡和田由紀子	黒島綜合事務所
水島美貴夫	株式会社 エスイーシー	屋代 涼子	黒島綜合事務所
西島 宏幸	株式会社 エスイーシー	斉藤 義一	北海道乳業 株式会社
阿部 紀子	株式会社 エスイーシー	増本 浩之	北海道乳業 株式会社
大野 雅宣	株式会社 エスイーシー	半海 啓二	北海道乳業 株式会社
青山 一広	株式会社 エスイーシー	工藤 隆行	北海道乳業 株式会社
佐藤 圭	株式会社 エスイーシー	畠山 伸哉	北海道乳業 株式会社
大楽 昌嗣	株式会社 エスイーシー	今田 哲	函館トヨペット 株式会社
杉山さおり	株式会社 エスイーシー	高木 伸一	函館トヨペット 株式会社
福田 祥隆	株式会社 エスイーシー	相澤 徹	ロワジールホテル函館
有本 規利	株式会社 エスイーシー	宮本龍之介	ロワジールホテル函館
高村 智恵	株式会社 エスイーシー	長谷川 純	株式会社 五島軒
阿部 哲	東一函館青果 株式会社	酒本 忍	株式会社 五島軒
平野 靖	株式会社 布目	武部 秀樹	函港作業 株式会社
鳴海 澄子	株式会社 布目	平野 一郎	函港作業 株式会社
京谷 裕之	及能 株式会社		

勤続10年以上 (54名)

氏名	事業所名	氏名	事業所名
工藤 初夫	藤商事 株式会社	鍋谷 正彦	及能 株式会社
扇谷 雅典	藤商事 株式会社	阿部 一	及能 株式会社
新保 智幸	くにや司法書士法人	川口 琴絵	及能 株式会社
大野 忠雄	西野会計 株式会社	及川 敦	及能 株式会社
安田 茂樹	平谷建設 株式会社	芦田 千恵	有限会社 プロムナード
山本 幸恵	前田産業 株式会社	小原 誠子	有限会社 プロムナード
瀬井 朋子	前田産業 株式会社	米澤 将人	株式会社 アルティスター
室田 幸男	野村不動産 株式会社	芦田 千枝	株式会社 アルティスター
小玉 象壇	函館信用金庫	長谷川 徹	株式会社 アルティスター
奥山 顯	函館信用金庫	岩崎 洋子	黒島綜合事務所
須藤 智子	函館信用金庫	野上真知子	北海道乳業 株式会社
三橋 倫子	函館信用金庫	小澤 淳	北海道乳業 株式会社
浅井 浩幸	函館信用金庫	佐々木 寛	北海道乳業 株式会社
長谷川知寛	函館信用金庫	西 イチコ	株式会社 不二屋本店
畠井福太郎	函館信用金庫	熊谷 信司	函館トヨペット 株式会社
高見 道代	函館信用金庫	鎌田 一馬	函館トヨペット 株式会社
清藤 昭彦	株式会社 トーショウビルサービス	佐藤 建	片井製薬 株式会社
佐藤 拓	株式会社 トーショウビルサービス	上田 正博	函館テレソフト 株式会社
菅井 弘子	トーショウコーポレーション 株式会社	阿部 浩司	函館テレソフト 株式会社
村山 和久	佐藤木材工業 株式会社	宮越進一郎	函館テレソフト 株式会社
竹 まゆみ	佐藤木材工業 株式会社	松山 優一	函館テレソフト 株式会社
土谷 信男	佐藤木材工業 株式会社	山本 史郎	株式会社 函市作業組
齊藤 亜希	佐藤木材工業 株式会社	岩角 大史	株式会社 YG フラッグシップ
馬場 賢一	佐藤木材工業 株式会社	小倉 史幹	株式会社 YG フラッグシップ
浅利 明美	株式会社 布目	鶴見 俊子	有限会社 ラッキーピエログループ
対馬 和幸	株式会社 布目	笠井 紗佳	有限会社 ラッキーピエログループ
小田中浩美	及能 株式会社	菊池 竜一	有限会社 山仁 菊池建設

中小企業相談所だより

金融

経営改善

税務

労務

法務

新規創業

取引照会

情報化

環境対策

などでお悩みはございませんか？ どんなことでもお気軽にご相談ください

経営者の退職金

小規模企業共済制度

小規模企業共済制度は退職後のゆとりある生活を応援する安心の共済制度です。

全国で約120万人の経営者が加入

小規模企業共済制度は、昭和40年に発足した法律に基づく制度であり、国が全額出資している独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営しています。掛金とその運用収入はすべて契約者に還元され、運営経費は全額国からの交付金により賄われています。

掛金は全額所得控除

掛金は全額が「小規模企業共済等掛金控除」として課税対象所得から控除できます。

緊急時には契約者貸付けの利用が可能

契約者(一定の資格者)の方は、納付した掛金合計額の範囲内で、事業資金等の貸付けが可能です。

加入条件

- 常時使用する従業員が20人以下(商業・サービス業では5人以下)の個人事業主および会社の役員
- 小規模企業者たる個人事業主に属する共同経営者(個人事業主1人につき2人まで)

無理のない掛金月額1,000円～70,000円の範囲で自由に選択

加入後も掛金月額は増額・減額できます(減額には一定の要件が必要です)。また払込方法も「月払い」「半年払い」「年払い」からお選びいただけます。

共済金の受取りは一括・分割・併用の3タイプ。
税制面で大きなメリット

共済金は廃業・退職時に受け取り、満期はございません。受取方法は「一括」「分割10年・15年」「一括と分割の併用」いずれかをお選びいただけます。税法上、一括受け取りの場合「退職所得扱い」、分割受け取りの場合「公的年金等の雑所得扱い」となります。

お問合せ 経営支援課（担当：鏡） TEL23-1181

セミナー

経営者のリスク回避と弁護士の使い方

従業員によるパワハラ・セクハラ、取引先の倒産、個人情報・秘密漏洩など中小企業を取り巻くリスクには様々なものがあり、場合によっては大きな損失を被ります。その未然防止のために弁護士に相談するポイントを、女性弁護士が実例をあげながらわかり易く解説します。

講演内容

- 1 中小企業を取り巻くリスクにはどのようなものがあるか
- 2 いったんトラブルが発生すると、どのような弊害があるか
- 3 トラブルを防ぐにはどのような方法があるか
- 4 トラブル防止のために弁護士に依頼するポイント

講師プロフィール

かとうみかほ
弁護士 加藤 美香保 氏

福島県いわき市 出身早稲田大学商学部卒業

平成13年司法試験合格

平成16年司法修習終了(57期)

平成16年弁護士登録、リバーシティ法律事務所入所



「知って得する定年講座」(秀和システム)共著
「図解入門ビジネス最新事業承継の対策と進め方がよくわかる本」(秀和システム)共著
「すぐに使える！契約書式文例集」(秀和システム)共著他

●日 時 平成25年1月16日(水) 13:30～15:30

●会 場 函館商工会議所 3階会議室 (函館市若松町7-15) ●参加料 無料 (定員50名)

●主 催 函館商工会議所／函館販売士協会

お問合せ・お申込み 経営支援課（担当：鎌田） Tel 23-1181

がんばる経営、応援します! 「マル経融資」

マル経融資制度は、経営改善を図ろうとする小規模事業者をバックアップするため、本所が日本政策金融公庫に推薦し、**無担保・無保証人・低利**で融資する制度です。

- 貸付限度額… **1,500万円** ■金利… **1.75%** (平成24年12月28日現在)
■返済期間… **運転7年** (うち据置1年)、**設備10年** (うち据置2年)

◎ご利用にあたっては下記の条件を満たしていることが必要です。

- ★従業員20人以下 (但し商業・サービス業は5人以下) ★事業実績が1年以上あり、函館市内に事業所のある方
★期限の到来した納税を完了されている方



会議所スタッフ（経営指導員）が決算書などを基に融資相談を行い、審査に向けた推薦書を作成いたします。融資実行まで日数がかかりますので、お申込みは余裕を持ってお早めにお願いいたします。

まずは本所<Tel23-1181>あて「マルケイの件で」とお電話ください。

本所では、今年度4月以降に推薦した「マル経融資」を対象に利子補給制度を創設しました。
詳しくは会報の封筒ウラ面をご覧ください。

個別専門相談ご案内

無料

相談は事前予約制となっております
で、電話 23-1181にご予約願います。

金融個別
相談

低利な融資制度についてのご相談
実施日／1月16日(水) 午前中
相談員／日本政策金融公庫函館支店
国民生活事業担当者

法律相談

法律に関するお悩みごとについてのご相談
実施日／1月25日(金) 13:00～
相談員／弁護士 堀田 剛史 氏

保証協会
個別相談

信用保証制度についてのご相談
実施日／2月12日(火) 13:30～
相談員／北海道信用保証協会
函館支店担当者

発明相談

特許・商標などの出願・活用についてのご相談
実施日／1月23日(水) 10:00～16:00
相談員／英知国際特許事務所
所属弁理士

経営相談

経営上の様々な課題についてのご相談
実施日／2月13日(水) 12:30～
相談員／公認会計士 鎌田 直善 氏



無料 発明・商標相談

8・12月を除く毎月第4水曜日 13:00～16:00 函館商工会議所にて

函館の皆様と共に42年…私たちが皆様からのご相談にお答えします

特許業務法人 英知国際特許事務所

会長弁理士 細井貞行

所長弁理士 岩崎孝治

所長代理弁理士 七條耕司

副所長弁理士 小橋立昌

弁理士 鈴木康裕

弁理士 宮崎恭

弁理士 神谷直慈

弁理士 堀内香菜子

弁理士 松尾貴治

特別顧問 岡本清秀

■東京本部■〒112-0011 東京都文京区千石4-45-13

TEL:03-3946-0531代 FAX:03-3946-4340

■神奈川支部■〒224-0006 神奈川県横浜市都筑区荏田東1-23-2

TEL:045-532-3827

FAX:045-532-3828

■浜松支部■〒430-0806 静岡県浜松市中区木戸町3-18

TEL:053-461-5662

■山形支部■〒994-0026 山形県天童市東本町1-2-20

TEL:023-651-6102

FAX:023-651-6102

<http://www.eichi-patent.jp>

連載

北海道新幹線で未来をひらく! 2015年新函館開業情報

北海道新幹線新函館開業対策推進機構と(社)北海道商工会議所連合会の主催による「第7回北海道新幹線地域活性化フォーラム」が去る11月22日、マリエール函館にて開催され、函館市民をはじめ、周辺自治体や観光関係者、新幹線関係団体、札幌からの視察団など、約250名が参加しました。

フォーラムははじめにJR九州高速船(株)代表取締役社長(元・九州旅客鉄道(株)常務取締役)の町孝氏より、「新幹線と観光特急で元気な九州」と題し基調講演をいただき、続いて立教大学観光学部特任教授の清水慎一氏をコーディネーターとして、基調講演の町氏に加え北海道旅客鉄道(株)取締役函館支社長の幅口堅二氏、(社)北海道商工会議所連合会会頭の高向巖氏、北海道新幹線新函館開業対策推進機構会長(本所副会頭)の永井英夫氏をパネリストに、「北海道新幹線開業効果拡大に向けて」という演題でディスカッションを行いました。

「新函館開業に向けて青函連携が大事」「新駅名称やダイヤなど地元から声をあげていくべ



き」「首都圏・東北からの集客を」といったパネリストの提言に、参加者も熱心に耳を傾けていました。

また、フォーラム終了に引き続き、地域一丸となった取り組みを目指すことを目的とした、第3回北海道新幹線関係団体懇談会を開催し、講師・パネリストを囲んでの懇談や意見交換で交流を深めました。



独立行政法人 中小企業基盤整備機構（略称：中小機構）北海道本部

北海道で頑張るあなたをもっとサポート！

中小機構 北海道 の支援メニュー

経営支援業務

- ・経営相談、専門家派遣
(窓口相談・専門家派遣による適切なアドバイス)
- ・農商工連携、地域資源活用、新連携
(異分野連携、地域資源の活用サポート)
- ・販路開拓支援
(販路開拓の支援、取引先との出会いの場を提供)

インキュベーション施設 「北大ビジネス・スプリング」

(大学等との連携による新事業展開支援、事業化のための賃貸スペース提供)

まちづくり・ 中心市街地活性化

(まちづくり、中心市街地の活性化をサポート)

人材育成支援

(計画的な人材育成のための各種サポート)

小規模企業共済 経営セーフティ共済

(もしもに備えてセーフティネットでサポート)

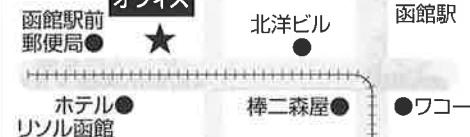
産業用地の提供

(お求め安い価格で産業用地を提供)

[函館オフィス]

- ・住所 〒040-0063 函館市若松町7-15
函館商工会議所ビル2F
- ・TEL 0138-24-6600
- ・FAX 0138-24-6611
- ・URL <http://www.smrj.go.jp/hokkaido>

オフィス



[北海道本部]

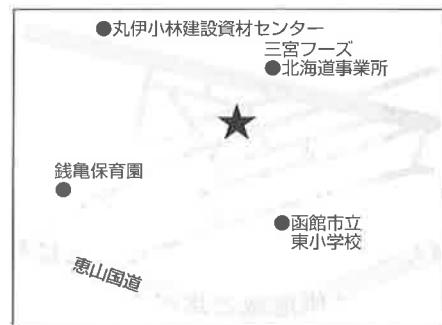
- ・住所 〒060-0002
札幌市中央区北2条西1丁目1番地7
ORE札幌ビル6F
- ・TEL 011-210-7470 FAX 011-210-7480

新入会員ご紹介

①代表者名 ②住所 ③電話番号 ④営業内容(50音順、敬称略)

瀬崎工業

- ①瀬崎 孝一
- ②函館市銭亀町283-19
- ③58-3715
- ④配管設備業



そば処 ひいらぎ

- ①岡島 貴宣
- ②函館市川原町8-13
- ③51-2233
- ④そば屋

老舗の味を守りつつ、和食に拘らない食事を提供し、様々な年代の方に喜ばれるお店づくりをしていきたいと思っております。



(株)メディカルオフィス・創健

- ①小笠原 実
- ②函館市本通1-38-1-804
- ③84-5459
- ④介護福祉事業

当社は、介護関連の仕事をしており、来年3月に湯川2丁目にグループホームひなた園をオープンします。



やきとり コウちゃん

- ①新田 昇
- ②函館市松陰町9-33
- ③56-1574
- ④焼鳥屋

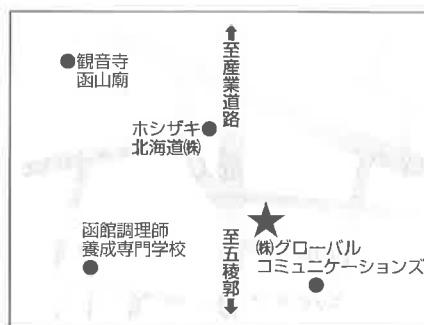
心優しく、おもしろ楽しいお客様に支えられたお店です。元気な店主が元気にお迎え致します。共に楽しいひとときを過ごしましょう。



(株)Balance Life Grand HairMake NOAH

- ①鳴村 崇
- ②函館市富岡町2-3-3
- ③44-6660
- ④美容業

美容事業部NOAH以外に、ヘアメイク事業部SIVAもあり、ヘアメイク・イベント企画・代行・WEBデザイン代理業も行っております。



本号では12月17日までにお申込みを頂いた会員さんをご紹介させていただきました。

ご入会誠に有難うございました。

掲載にあたり、ご不明な点がございましたら企画情報課までお問合せ下さい。

(担当:上野) TEL 23-1181



異国情緒あふれる
いきりびの街



はこだての味の数々

●函館こがね ●焼するめ ●一夜干しあたりめ

イシオ食品株式会社

〒042-0933 函館市湯浜町1番17号
TEL(0138)53-0102番 FAX(0138)55-5536番

企業探訪

Vol. 7

(株)プラスモバイル

代表取締役

小野 康平 氏

将来性を強く感じ創業を決意

平成11年7月に創業した通信機器販売業の(株)プラスモバイルは、函館では2社しかいないauの一次代理店として函館市内をはじめ松前店など6店舗を運営している。同社を創業した小野社長は、もともと市内の大手小売店に勤めていたが、自分もいつか起業したいとの思いを常に持っていたり、独立後は配達専門の弁当屋を経営する傍ら、北海道セラーと代理店契約を結び、携帯電話を販売する事業をスタートした。創業後は、積極的な訪問販売など特徴ある戦略を打ち出して顧客を獲得し、現在では管内で最大規模の携帯電話販売店として順調に業績を伸ばしている。「親が飲食店を経営していたため、会社に勤めていた時からいつかは独立して自分で商売をしてみたいと思っていました。最初に始めた弁当屋が軌道に乗ってからは、新たな商売にも挑戦してみたいと考え、当時から日々進化を遂げ、人々のライフスタイルまで変化をさせていた携帯電話の販売に将来性を強く感じ進出を決意しました」と小野社長は創業当時の思いを語る。

ここから買いたいという人間関係を築く

創業してからは、後発であったため中心街には入り込んでいきづらい状況のなか、西部地区唯一の携帯電話販売店である十字街店を開設した。同



店は売上げを伸ばし主力店へと成長したのち、昨年11月には店舗拡大のリニューアルを行い、携帯電話教室を開くなどして店舗の魅力向上に努めている。「西部地区は他地域と比べ人口が少なく高齢者も多いですが、そのぶん地域に密着した運営ができます。お客様の多くは自転車や徒歩で来店され、リピーターとして私たちの原点である十字街店を支えていただいている。現在の主力は中道店ですが、十字街店でお客様を集客できる工夫をするという事は、どの店舗にも通じるノウハウが得られるという思いで日々仕事に励んでいます」

また、店舗販売で地域の顧客を獲得すると同時に、松前などの郊外へ積極的に訪問販売を行い、現在はアフターサービスの充実のため松前店を開設するまでに成長している。「当時は市内でも一番小型の販売店でしたので、お店でお客様を待っているだけでは、地域以外の新規顧客の獲得は難しいと考えていました。そこで、片道2時間をかけて松前などを走り回り積極的に訪問販売を行いました。そしてシェアを拡大していくなかで松前店を開設し、商品を売りっぱなしではなく、アフターサービスにも力を入れて顧客満足度を高めたいと思っています。

私たちは、お客様との人間関係を築いたうえで商品を買っていただくことを一番に心がけています。始めは訪問先で嫌な顔をされましたか、話

しのなかで少しづつ人間関係を築いていき、最後は納得して商品を買ってもらえるようになりました。人間関係を築くと信頼関係が生まれ、商品の購入や買い換えなどの際は担当に連絡が入るようになり、お客様から『ここのお店から買いたい』と思ってもらいます。さらに不具合や故障の相談などアフターサービスを充実することにより、お客様に安心とさらなる信頼が生まれます。この『人間関係』と『アフターサービス』によるサイクルを大事にしていきたいです」



▲小野社長が原点と語り、昨年11月にリニューアルした十字街店

個々にあった使い方を提案する

現在、携帯電話は1人1台が当たり前となり、携帯電話からスマートフォンへと、技術の進歩により市場は目まぐるしく変化しているが、同社では携帯電話が便利になる分だけ利用目的も多様化し、個々にあった使い方が重要になるとを考えている。「今後は、外出先で会社や家のパソコンにある情報を見る事ができ、仕事でもプライベートでも拠点に縛られない活動がますます可能になります。そうなると必然的に使いこなせる人とそうでない人の格差が生まれます。このような状況で、私たちが生き残るために、製品を売るだけではなく、お客様個々のニーズにあった使い方やサービスを提案できるようなスキルを売る側が

身につけることが大事だと考えています。やはりお客様に商品を売ったからには利用してもらいたいですし、使っていくなかで新たなサービスや機能に興味を持つお客様には、店舗内で気軽に参加できるスマホ教室などを開いて、どんどん使いこなせるようなサポートをしていきたいですね」と、今後の目標を語る小野社長は、自身も人脈作りやスキルアップのため、通信制の大学でグローバル経営学を学んでいる。「函館の人脈から得る情報ももちろん大事にしていますが、どうしても限定的になりスピードも遅くなってしまいます。大学で学ぶ方は、経営者から一般の方まで年齢や地域も様々ですので、幅広く各地域がもつ生の情報を聞くことができ、その情報について話し合う事ができますのでとても勉強になりますし面白いです。この年で大学生というのも新鮮ですね」と笑顔を見せた。

十字街店での取材中には、来店した年配の方から声をかけられ笑顔で応対するなど、人間関係を大事にする小野社長らしい光景が見られた。

Data

株式会社プラスモバイル
函館市末広町5-15 アクロス十字街1F
TEL:0138-22-1515



▲様々なニーズに対応するよう機種を豊富に取り揃える



会員限定!!

HACのみんなでためる ポイントカード Mint CARD

経費削減に
HACで
出張!



- HACに1回搭乗でスタンプ1個!
- スタンプ20個でお好きなHAC路線片道プレゼント!!
- さらに会社単位でポイント合算できます!

ご利用方法

- ・カードご利用する方全員のお名前をご記入ください。
- ・HAC全路線にて片道搭乗時（有償運賃のみ対象）に1スタンプ押印いたします。
- ・スタンプを20個集めると、「お好きなHAC路線片道分」をプレゼント！

ポイントカード「MINT CARD」は、本所窓口で配布しております。

お問合せ 企画情報課（担当：早稲田、上野）TEL:23-1181

平成24年度 函館商工会議所

検定試験ご案内

資格を取って
キャリアアップ!!

簿 記

～財務が読める、会社が読める。～

■第133回2～4級

施 行 日／平成25年2月24日(日)
募集期間／1月8日(火)～1月24日(木)
受 験 料／2級4,500円 3級2,500円
4級1,600円

●このような方々の役に立ちます

- ・企業の経理・会計担当者
- ・利益率を重視する営業担当者
- ・コスト管理を求められる管理者
- ・取引先企業の経営状態を把握したい人
- ・公認会計士や税理士等の国家資格をめざす人
- ・税務申告を自分で行いたい人

●このような効果が期待できます

- ・正しく帳簿をつけられる
- ・自社の長所や短所を分析できる
- ・費用や収益率を意識するようになる
- ・取引先企業の経営状況を把握できる

販 売 士

～「買いたい」をつくる。「働く力」が身につく。～

■第40回1級・第71回3級

施 行 日／平成25年2月20日(水)
募集期間／12月20日(木)～1月25日(金)
受 験 料／1級7,500円 3級4,000円

●このような方々の役に立ちます

- ・デパート、専門店、スーパーなど、大規模小売店の販売員及び売場責任者
- ・一般小売店の経営者及び従業員
- ・製造業、サービス業、卸売業などの販売業務担当者
- ・これから流通業界で活躍したい人

●このような効果が期待できます

- ・接客に関する基礎知識が身につく
- ・取扱商品に関する専門知識が身につく
- ・売場や店舗を管理する能力が身につく
- ・経済の動き全体からみた店舗経営が身につく

お問合せ 企画情報課（担当：早稲田・上野） TEL:23-1181

2013

はこだて 冬フェスティバル

昨年12月1日から始まっている2013はこだて冬フェスティバルをご紹介いたします。

たくさんのイルミネーションに彩られたロマンチックな函館の街並みを体験し、冬の思い出づくりに足を運んでみてはいかがでしょうか。

はこだてイルミネーション

「光りに包まれた愛の街・函館」をテーマに、教会や歴史的な建物が建ち並ぶ異国情緒あふれる元町地区の街並みと坂道の素晴らしいロケーションをより一層生かして、幻想的な光の回廊で函館の夜を美しく彩ります。

日 時／2012年12月1日(土)～2013年2月28日(木)

日没～22:00

場 所／二十間坂、二十間坂通り、八幡坂、元町公園

はこだて「光の小径(こみち)」

「はこだて光の小径」は観光客と函館市民の手作りによるワックスキャンドルを市内観光名所に配置し、光の回廊で幻想的な雰囲気に包みます。ワックスキャンドルのほのかな光りで繋がれた街並みは、見る人の気持ちを温かく、そして感動で包み込むでしょう。

日 時／2013年2月6日(水)～11日(月・祝)

場 所／2月6日(水) 点灯時間：16:30～19:30

7日(木) 点灯時間：16:30～19:00

場 所：元町公園、港が丘通り、南部坂周辺、
函館市地域交流まちづくりセンター

8日(金) 点灯時間：16:30～19:00

場 所：五稜郭公園

9日(土) 点灯時間：16:30～19:00

場 所：函館山登山道路

10日(日) 函館市制施行90周年記念キャンドルイベント
(詳細な内容が決定次第、冬フェスHPにて告知します)

11日(月・祝) 函館山登山道路予備日

(2月9日荒天中止の場合)

ワックスキャンドル製作体験会

ワックスキャンドルの製作体験を行います。どなたでも簡単に製作できますので、お気軽にご参加ください。

日 時／2013年1月12日(土)、19日(土)、20日(日)

10:00～15:00

場 所／五稜郭タワーアトリウム



「はこだて光の小径」参加型イベント

2月6日(水)

はこだてイルミネーション&光の小径点灯ウォーク
(オープニング事業)

開催時間／18:00～19:30(点灯時間16:30～19:30)

場 所／西部地区(元町公園～港が丘通り～八幡坂～二十間坂～カフェペルラ)

参 加 費／無料 ※先着100名・当日受付

2月7日(木)

はこだてイルミネーション&光の小径点灯ウォーク

開催時間／18:00～19:00(点灯時間16:30～19:00)

場 所／西部地区(元町公園～港が丘通り～八幡坂～二十間坂～FMいるかビル)

参 加 費／無料 ※先着100名・当日受付

2月9日(土)

はこだて光の小径「函館山登山道ウォーク」

開催時間／16:00～19:00(点灯時間16:30～19:00)

場 所／函館山登山道

参 加 費／大人(中学生以上)500円、小人250円

※函館山ロープウェイ片道料金を含みます

お問合せ先／はこだて冬フェスティバル実行委員会 TEL 0138-27-3535 URL / <http://www.hakodate-illumination.com/>

講演・講習会 調査・診断 企画・出版

株式会社 日経コンサルタント

東京都中央区築地2-15-20 TEL(03)3543-4321(代) FAX(03)3546-2644

- 全国商工会議所及び商工会講演・講習会の企画立案講師派遣
- メーカー・総合商社経営管理指導(コンサルティング)
- 代理店・販売店経営診断指導(ディーラーヘルプス部)
- 地域開発・商店街再開発計画指導

- 企業内教育の企画と講師派遣
- 人事労務相談指導(心理相談部)
- 地域振興対策・調査研究・診断指導



相 川 正 夫

西桔梗町五八九
流通センター

式社
株会
近藤商会
代表取締役会長

赤坂成二

大繩町二一一〇

有限会社赤坂葬祭
代表取締役

東 陽 一

高松町五一一
函館空港内

函館空港ビルディング株式会社
代表取締役社長

石 尾 清 広

湯浜町一一一七

イシオ食品株式会社
代表取締役社長

石黒義男

弁天町一七一〇

NUNOME

株式会社 布目
代表取締役社長

板垣孝雄

西桔梗町八二八一一

株式会社第一印刷
代表取締役

伊 東 研 一

日乃出町七一二二

函館地方電気工事協同組合
理事長

稻 松 孝 則

若松町一七一一〇

株式会社北陸銀行函館支店
支店長

井村守俊

北斗市追分八一一一四

北海道パークエット工業株式会社
代表取締役社長

梅村卓司

万代町八一一一

北海道方ス株式会社函館支店
執行役員函館支店長

大 越 信 幸

昭和二一四三一五〇

大一興業株式会社
代表取締役

小笠原 康 正

港町三一一八一一五

株式会社テーオー小笠原
代表取締役社長

岡村匡

若松町一四一一〇

株式会社SHR函館
ロワジールホテル函館
総支配人

頌

(掲載は五十音順になっております)

春

鍵 谷 良 一

函館方面公安委員会指定
株式会社函館中央自動車学校
代表取締役社長

川 上 裕

株式会社東京商工リサイクル函館支店
支店長

河 村 隆 平

函館トヨペット株式会社
代表取締役社長

栗 原 義 則

三井住友海上火災保険株式会社
函館支社長

(〇一三八一四九一二二三一)
西桔梗町五一五一一

金 子 隆

株式会社函館酪農公社
取締役会長



中野町一一八一十七

加 藤 健太郎

加藤組土建株式会社
代表取締役社長

千歳町三一二

河 村 祥 史

トヨタカローラ函館株式会社
代表取締役社長

石川町一六九一三五

川 崎 正 博

函館青果物商業協同組合
理事長

川 島 晃

函館三菱ふそう自動車販売株式会社
代表取締役社長

昭和三一三二一二六

久 保 俊 幸

函館環境衛生株式会社
代表取締役

三井生命函館ビル六階
梁川町五一八

北 川 繁

キザイ産業株式会社
会長

北 村 隆

共栄運輸株式会社
代表取締役社長

海岸町二二一五

西桔梗町五八九一二五

昭和三一三九一四一

頌

黒田憲治

東雲町一九一一三

株式会社高木組
代表取締役社長

小泉康祐

末広町一〇一一二

株式会社博善社
代表取締役

佐藤一磨

梁川町五一八

三井生命保険株式会社函館支社
函館支社長

芝原廣一

吉川町四一三〇

株式会社松本組
代表取締役社長

小岩宏年

大手町五一一〇

株式会社函館国際ホテル
専務取締役

佐藤賢治

昭和四一一四一六

株式会社ふじでん
代表取締役

渋谷和憲

函館第一生命ビル一階
本町六一七

斎藤善美

西桔梗町八四九一一二

株式会社今井工務店
代表取締役

佐藤止昭

新川町一一二五

株式会社丸み佐藤商店
会長

庄司澄枝

日乃出町二八一二

龍文堂印刷株式会社
代表取締役

境勝則

中道一一一一二

株式会社トーショウビルサービス
代表取締役社長

佐藤祐幸

昭和四一五一一

佐藤木材工業株式会社
代表取締役会長

杉澤光雄

西桔梗町八六三一一

株式会社カネス杉澤事業所
代表取締役



株式会社JTB北海道函館支店
支店長

春

竹 田 寿 広

浅野町三一一〇

株式会社竹田食品
代表取締役社長

北斗市七重浜八一九一一二

辻 秀 明

来夢ハウス
辻木材株式会社
代表取締役社長

日乃出町一一一一三

富 田 秀 瞬

株式会社長門出版社
代表取締役社長

大町八一二五

須 田 新 崇

株式会社富士サルベージ
代表取締役社長

株式会社工スイーシー
代表取締役社長

永 井 英 夫

末広町二二一一

中 田 義 治

北浜町九一二三

北海道サンアグロ株式会社
代表取締役

五稜郭町四三一九

中 野 恒

五稜郭タワー株式会社
専務取締役

七飯町字中島一四五

中 村 圭 一

株式会社ルネサス北日本セミコンダクタ
執行役員函館工場長

千歳町一三一一

那 須 弘 之

NHK函館放送局
局長

名 取 明 彦

西桔梗町五八九一四六

株式会社不二屋本店
代表取締役社長

宮前町一六一一

成 泽 茂

成沢機器株式会社
代表取締役社長

桔梗町四〇六一四一

西 川 清 一

株式会社ニシカワ産業
代表取締役

青柳町三九一一二

二 本 柳 慶 一

株式会社二本柳慶一建築研究所
代表取締役

頌

野 口 忠 雄

弁天町二〇一三

函館どつく株式会社
代表取締役社長

野邊地 明 雄

鈴蘭丘町三一六三

函館工又・デー・ケー株式会社
代表取締役社長

日 沼 直 之

上湯川町六七一一三

有限会社函館土質試験室
代表取締役

本 間 正 彦

豊川町二七一六

函館水産市場仲卸協同組合
理事長

秦 賢 蔵

本町三一一五

野村證券株式会社函館支店
支店長

福 西 秀 和

石川町一六九一七

株式会社工藤組
代表取締役

松 田 哲 義

五稜郭町三一一三

株式会社北海道新聞社函館支社
支社長

幅 口 堅 二

若松町一二一五

北海道旅客鉄道株式会社函館支社
取締役函館支社長

堀 川 昭 雄

東雲町九一九

丸栄堀川紙器株式会社
株式会社ホリカワ
代表取締役社長

松 本 榮 一

鍛冶二一三八一七

ホンダカーズ南北海道株式会社
代表取締役会長

東 原 幸 生

若松町一五一七一一

株式会社北洋銀行函館中央支店
執行役員支店長

本 間 秀 行

元町一九一七

函館山ロープウェイ株式会社
代表取締役社長

三 野 正 博

石川町六〇

函館日産自動車株式会社
代表取締役社長

春

株式会社商工組合中央金庫函館支店
支店長

宮崎真

若松町三一六

株式会社北海道銀行 函館支店
常務執行役員 函館支店長

村上則好

本町七一一八

村山ギソ一株式会社
代表取締役

村上岩夫

入舟町一一七

東栄株式会社
代表取締役社長

棟方次郎

西桔梗町五八九一一〇七

アクサ生命保険株式会社
函館営業所長

三好智

本町八一一八
五稜郭本町ビル

株式会社魚長食品
代表取締役

柳沢政人

(〇一三八一二六一一八一二)
豊川町一二一一二

株式会社森川組
代表取締役社長

森川基嗣

海岸町九一二三

函館バス株式会社
代表取締役社長

森健二

高盛町一〇一一

株式会社村瀬鉄工所
代表取締役社長

村瀬充

昭和一一三四一一

株式会社はこだてティーエムオー
代表取締役社長

渡辺良三

若松町一八一一

前側石油株式会社
代表取締役社長

渡邊宏海

大手町三一一

金森商船株式会社
代表取締役社長

渡邊兼一

末広町一四一一二

函館商工信用組合
理事長

山本富靖

千歳町九一一六

あけまして おめでとうございます



— 今年も早期提出を目指しガンバリましょう —

お健やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。迎える平成25年も中小企業者にとって厳しい年となりそうですが皆様と共に研鑽しあい励ましあい少しでも良い年にいたそうと努力してまいる所存です。

変らぬご指導、ご支援をお願い致します。

平成25年 元旦

0040-0001 函館市五稜郭町16番13号

函館青色申告会

会長 原 隆俊
役員一同

電話(0138)55-3271番
FAX(0138)55-9929番



快進撃企業に学べ

他社ブランド薬品を最も多くつくる『万協製薬』

三重県の中心部からかなり離れた山あいにある多岐町に「万協製薬」という社名の中小企業がある。クリーム剤・軟膏剤（なんこうざい）などの外用薬が主製品の製造工場だ。読者の多くは「万協製薬」というブランド名の薬を聞いたことがないかもしれない。それもそのはず、同社が製造する大半の薬は、発売者のブランド名で市場に出回っているからだ。

同社の設立は昭和35年。現社長である松浦信男さんの父親が、神戸市長田区でスタートしたが、平成8年にやむを得ない事情で、現在地に本社ごと引っ越している。そのやむを得ない事情とは、7年に発生した阪神・淡路大震災だ。読者の多くは記憶にあると思うが、建物の倒壊、その後の火災など想像を絶する被害があった。実は同社も被災者だった。地震により工場が全壊したばかりか、工場内の機械設備は全て焼失してしまったのだ。そればかりか、自宅も家財道具も全て焼失してしまった。

当時、社長として工場を切り盛りしていた父親は、震災のショックでこの日を境に体調不良になり、約30人いた社員も当然ながら大半が離散した。専務だった現社長は、何としても再建せねば、と孤軍奮闘した。多くの支援者にも助けられ、地震や津波を考慮し、再生の地を三重県の山奥の現在地に求めたのだ。この間の

苦労と努力が報われ、現在では従業員数約100人、売上高は約19億1000万円（22年度）、取引先数は約70社という企業にまで成長発展している。

同社がこれほど多くの企業のさまざまな商品を製造することになったきっかけは、工場が神戸にあった当時、取引先との関係で多大な苦痛を味わったからだ。当時の取引先はわずか1社・1商品であったばかりか、ブランドメーカーの動向に強く左右されやすい経営をしていた。独立企業になるため、松浦社長はこれまでの経営を根本的に改め、次の目標を立てた。

第1は、あれもこれもではなく得意のクリームや軟膏などの外用薬への絞り込み

第2は、1社・1品に依存した経営から多くの優良企業との取引への変換

第3は、単なるOEM（発注元ブランド名での製造）工場からODM（受託開発・受託生産）工場への転換

第4は、同社が存在しなければ取引先が困るような強い武器を持った企業になる

血のにじむような経営革新努力により、こうした目標は、ことごとく実現した。「念ずれば花開く」「ネバーギブアップ」という言葉があるが、それを証明してくれる良い企業だ。

法政大学大学院政策創造研究科 教授

坂本 光司

坂本 光司／さかもと・こうじ

1947年東京生まれ。福井県立大学教授、静岡文化芸術大学教授などを経て、2008年4月より法政大学大学院政策創造研究科（地域づくり大学院）教授、同静岡サテライトキャンパス長および同イノベーション・マネジメント研究科兼担教授。他に、国や県、市町、商工会議所などの審議会・委員会の委員を多数兼務している。専門は中小企業経営論・地域経済論・産業論。著書に『日本でいちばん大切にしたい会社』（あさ出版）、『この会社はなぜ快進撃が続くのか』（かんき出版）など。



Colors in Future
龍文堂印刷株式会社

URL: <http://www.ryubun-do.co.jp/>
Email: info@ryubun-do.co.jp

〒040-0022 函館市日乃出町28番2号
TEL(0138)53-2231㈹ FAX(0138)53-4355

名鉄観光～M-Golf～

北海道発

2012年11月～2013年4月

冬の北海道から飛び出そう!

函館商工会議所 会員限定!!

旅行代金より**3%**割引いたします

詳しくは当社までお問い合わせください。総合パンフレットをお送りいたします。

※お申込の際は、会員事業所名と会員事業所コードをお伝え下さい。

*道内各地より発着(函館・新千歳・旭川・釧路・帯広・女満別)

1 セレクト木更津(現地送迎付き)2日間・2Rプレー/3日間・3Rプレー ¥41,800~

出発日: 11月1日～4月10日

宿泊: ザ・カントリークラブジャパン迎賓館/ロイヤルガーデン木更津/オークラアカデミアパーク

ゴルフ場: ザ・カントリークラブジャパン/キングフィールズ/木更津/上総モナーク・きみさらず/南市原/かずさ

2 セレクト市原(現地送迎付き)2日間・2Rプレー/3日間・3Rプレー ¥41,800~

出発日: 11月1日～4月10日

宿泊: セントレジーホテル千葉/八幡宿第一ホテル/市原マリンホテル

ゴルフ場: 姉ヶ崎/立山クラシック/森永高滝/富士OGM/ロッテ皆吉台/市原京急/セントレジーパーク/太平洋クラブ

3 南房総セレクション(現地送迎付き)2日間・2Rプレー/3日間・3Rプレー ¥49,800~

出発日: 12月1日～3月31日

宿泊: 五井グランドホテル/オークラアカデミアパーク/ザ・カントリージャパン迎賓館

ゴルフ場: ザ・カントリークラブジャパン/キングフィールズ/カメリアヒルズ/浜野

4 セレクト沖縄3日間・2Rプレー/4日間・3Rプレー ¥59,800~

出発日: 11月1日～3月31日

宿泊: サン沖縄/東急ビズフォート那覇/パームロイヤルNAHA/ダイワロイネット那覇おもろまち/ダイワロイネット那覇国際通り
JALシティ那覇/ザサンリンクス/リザンシーパークホテル/喜瀬ビーチ/カヌチャベイ

ゴルフ場: 琉球・那覇・ザサンリンクス・パームヒルズ・ジ・アッタテラス・美らオーチャードゴルフ俱楽部/喜瀬/カヌチャ/
沖縄国際/ベルビーチ/オリオン嵐山/宜野座

備考: 送迎なし

5 セレクト宮崎4日間・2Rプレー ¥54,800~

出発日: 11月1日～3月31日

宿泊: 宮崎観光ホテル(本館)/ホテルメリージュ

ゴルフ場: 宮崎国際/宮崎カントリー/青島ゴルフ/宮崎レイクサイド/UKMカントリー/ハイビスカス/愛和宮崎

備考: 送迎なし

**6 その他 国内(鹿児島・長崎・徳島・松山・高知・静岡・三重)
海外(タイ・グアム・ハワイ・台湾・マニラ・マレーシア)**

*最少催行人数: 3名様(2名様のコースもございます)

*添乗員は同行いたしません。

*食事条件は各コースにより異なります。パンフレットをご参照ください。

*お申込みは出発日の前日から起算して10日前まで承ります。

★お申込み先: 名鉄観光サービス(株)函館支店 函館市田家町7-23 TEL 0138-44-1234

育てる、支える—中小企業と地域の活力。

小規模経営者だけが加入できる、安心・確実な国の退職金共済制度です

小規模企業共済



小規模企業共済は、従業員20名以下(商業・サービス業では5名以下)の会社の役員および個人事業主とその共同経営者を対象とした退職金制度です
個人事業主の配偶者・後継者等共同経営者(2名まで)が加入できるようになりました

- 1 掛金は月額1千円~7万円で全額が課税対象所得から控除できます
- 2 受取共済金は退職所得扱いまたは公的年金等の雑所得扱いとなります
- 3 一般貸付制度も充実しています(低利・無担保・無保証人)



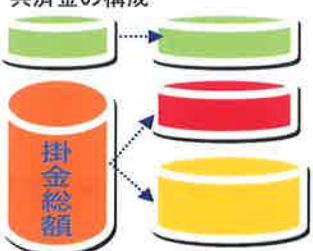
◆参考事例(節税効果)

掛金所得控除の効果(節税効果の参考事例)

(ケース1) 課税所得400万円の方が、月額3万円の掛金を20年間掛けて、事業を廃止した場合の共済金受取額と利回り(共済金A)
(ケース2) 上記ケースで、課税所得200万円の方の場合(共済金A)

◆共済金の受取り総額と節税効果

共済金の構成



(単位:千円)

	(ケース1)	(ケース2)
① 共済利息分	1,159	1,159
② 節税相当分	2,160	1,130
③ 実質加入者負担分	5,040	6,070
共済金受取額 (①+②+③)	8,359	8,359

こんなにお得!

共済制度の運営は、独立行政法人 中小企業基盤整備機構が実施しております

本制度についてのお問い合わせ・資料請求は

中小企業と地域振興をもっとサポート

中小機構 北海道

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部 〒060-0002 札幌市中央区北2条西1丁目1番地7 ORE札幌ビル
TEL 011-210-7474 FAX 011-210-7480
TEL 050-5541-7171 (共済相談室) 平日/9:00~19:00 土曜/10:00~15:00
<http://www.smrj.go.jp>